

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.113 (2025.8.27)

令和7年度スローガン
新たなるステージへの挑戦
～和賀組さんで良かったと言われよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

先日ある資料を読んで「薫化(くんか)」という言葉を知りました。教育パターンには①教化(意識的に教える)、②倣化(真似る)、③感化(意図せず影響を与える)、④薫化(生活過程で自然に吸収する)の4つがあるそうで、薫化とは無意識のうちに、生活を通して良い影響を受け与えることを意味します。②の倣化については「親のする事はすぐに真似するから、子供の前では悪いことは出来ない」というような経験のある方もいらっしゃるかと思います。また③の感化は芸術や本などにより我々の考え方や行動が自然に変化させられるような場合に使われます。これに対し薫化はイメージ的には良い香りが自然に染み込むように、良い雰囲気の中で生活することで豊かな情操が養われることを指すそうです。薫化とは徳によって人を感化し良い方向へ導くことであり、良い影響を与える教育作用の一つとされています。

薫 感 倣 教
化 化 化 化

このことは職場であれば先輩や上司と教えられる後輩や部下などにも当てはめることができるでしょう。ここで大切なのは指導・教育にあたる人は「社風」を正しく体得しながら、4つの教育機能を駆使し、根底に「薫化」を意識することだと思います。私が読んだ文章には何かを伝えようとする者の願いと振る舞いが移り香のように相手に伝わる時、「薫化」という教育作用が生まれて新たな社風へと昇華していくとありました。模倣されるに足る自分自身であるか、感化に至る強い願いがあるかを問われることもあります。これらはすべて教える側の自分磨きにつながり、自己錬磨は薫化を実現する土台にもなります。

現在我社は役員・社員合わせると82人の組織となっております。それぞれの部門の責任者や職場での先輩は上記のことを良く認識して、後輩や部下に対して会社の経営方針やこれまで自分が教えられてきたことを正しく教えていくことが求められます。またそれぞれが後輩や部下に仕事へ取り組む姿を見せることが倣化・薫化につながり、このことが新たなより良い社風へと進化に繋がるのだと思います。

職業体験フェスタ 2025

今年の職業体験フェスタは月曜日が振替休日の為4日間の開催となりました。湯沢翔北、翔北雄



勝校、羽後高校、横手清陵から25名の参加者で実施され、皆真面目に取り組んで頂けました。全員が高校2年生でしたが、皆真面目に精一杯受講しておりました。



七夕家族感謝祭



8/5七夕家族感謝祭が開催され、ご家族や取引先など50名を超える皆様に参加頂きました。急遽秋田市から駆け付けて頂いた似顔絵師の「おさ」さんこと長内さんにも参加頂き、多くの皆さんの似顔絵を描いて頂き盛り上げて頂きました！！



山の日コンペ

8月24日、羽後カントリークラブに



て、過去最多の51名が参加して第10回大会が開催されました。雨とお天気が交互に訪れるような天気でしたが日差しは強くなかったので例年よりも楽しかったと思います。優勝は東成瀬村の高橋さん初参加での優勝でした。

